



自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

4/1(火)

テーマ：『原因と結果』

出席17社17名
(美浜16、他会1、非会員0)

講師：千葉県倫理法人会 副会長 荒井 久満 氏



荒井氏の講話は、工夫された実践例が豊富で、エッセンスも満載！ぜひ生かしたい。

荒井氏は、昭和24年生まれ。千葉県名物の鉄砲漬を作る(株)まるやの代表取締役。

今回の講話テーマは、『原因と結果』だ。荒井氏は、「結果には、必ず原因がある。だから、良い結果を生む良い原因づくりが大切」という。

ところで、成功のパターンは3つある。
[①家柄が良い ②たまたま当たる ③こつこつ]

倫理を例にするなら、①は「たまたま入会した会が会員数150社だった」、②は「大物企業・人物が入会した」、「土地の値が急に上がった」など。③は本田や松下のように「こつこつ」だ。

確かに、世の中には①や②のように、「たまたま」成功する人もいる。しかし、「たまたま」を当てにするより、自ら打って出たい。それには、「こつこつ」しかないのだ。今いる人の良さを見つけて掘り起こしながら「こつこつ」と色々なことを試していけば、結構良い結果になるものだ。

こつこつと良い事を続けていけば、人が人を呼ぶ

自ら打って出て、良い原因を作るには、倫理活動に磨きをかければ良い。

1. 倫理は形より入る。良い形を、まず無条件にやってみる。
「人が集まる」のは結果。倫理はまず「形」より入る。倫理の「形」は、そうやると良い結果が出る、うまくいく「形」の集大成なのだから、まず無条件にやってみることが大切だ。その上で良ければ続け、悪ければ考えればいい。

2. 自分がやっているものに自信を持つと、良い結果になる。
鉄砲漬も倫理と同じだ。「買ってこれ」では売れない。「食べてみてこれ」とご意見を伺うようにすれば、声が集まる、それによって商品が改良できる。結果売れる。

ただ、その勧め方も大事だ。「余り物ですが、どうぞ」では全く魅力がない。「これ、ほんとに美味しいから食べてみてよ！」と言えば全然違う。自信を持つことだ。

3. 会社を良くするための法人会なのだから、朝礼が良い！
モーニングセミナーと朝礼は、倫理の「売り」だ。清々しい、元気を頂くこの2つを継続する。そして、非会員が倫理を知る機会「経営者の集い」で門戸を広げる。

具体的に、どんな良い事を、如何に続けるか【MS編】

【役員朝礼】各人の役割を確認し、しっかりとMSの準備をするためのもの。1つでも役割があるとMSに来るようになる。音楽のスイッチを押すだけでもいいから、たくさんの人に参加してもらうことが、MSを、そして会を活性化させる。

【葉の輪読】「ハイ！」と読んで帰るかどうかで、全然結果が変わる。多くの人が「ハイ！」を実践できるように、葉をこまめに区切るのも手だ。

【会長挨拶・会員スピーチ】仕事のちょっとした空き時間を利用して、会員を訪問する。そこで出た話などを会長挨拶に入れれば、会長も随分気が楽になるはずだ。また会員スピーチでは、先週講師から得たヒントなどを1週間試してもらい、その結果発表をしてもらうのが良い。結果は、1週間でも十分出る。

【講話】自分達の思いを予め講師に積極的に伝えると、講話がより興味深いものになる。ファックス1枚で来てもらって、「講話がつまらない」などと言うのは駄目だ。また、これは普段でも使えるが、「相手が何を言いたいのか見つけよう」という意識で聞けば、人間関係も良くなるし、聞き方の勉強にもなる。講師でなく自分次第だ。

荒井氏は言う。「葉もいい。講話もいい。でもMSが何より素晴らしいのは、毎週6時にベルが鳴り、気持ちをリセットして、定期的に同じ時間に同じ事をする。これは成功の秘訣です。だから、毎週6時に来るだけで、価値があるのです」。

次回 第872回MS！ 4/8(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-7777)

テーマ：『実践は命、継続は力』 講師：(社)倫理研究所 首都圏副方面長 松丸 靖 氏

できるできるやればできる！
明るく楽しくなければ倫理じゃない！
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく